

科目名		単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
保育基礎Ⅱ		前期	1	3年次	選択	12	5	3
		後期	1			12	5	3
使用教科書		実教出版 707 保育基礎						
科目の概要		どのようにしたら生き生きと成長していくことができるのか、子どもの育ちについて学んでいきます。また、保育の学習を通して新たな「自分」を発見することもねらいとしています。						
年間 学習 計画	学習内容		主な学習のポイント			面接指導	添削課題	
	・子どもの文化の意義と支える場 ・子どもの遊びと表現活動		○絵本や歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどんな関わりを持つか理解する。 ○絵本の種類を理解する。童謡や唱歌を知り、一緒に歌ったり、絵本の読み聞かせができるようにする。			前期 1～4	No.1	
	・子どもの遊びと表現活動		○描画表現・造形表現の方法やその発達を理解し、実際に表現をする。 ○童話や絵本の創作をしたり、その表現を行う。			前期 5～8	No.2	
	・子どもの生活と養護①		○子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。			前期 9～12	No.3	
	・子どもの生活と養護②		○乳幼児期の栄養や食事(乳汁栄養や離乳食、幼児食など)の特徴を理解する。 ○子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。			後期 1～4	No.4	
	・子どもの生活と養護③		○子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。 ○子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解する。 ○簡単な衣服の修繕ができるようになる。 ○衣服のデザインを行う。			後期 5～8	No.5	
	・生活習慣の形成 ・健康管理と事故防止 ・子育て支援		○基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。 ○子どもの事故防止や安全な環境整備にはどんな配慮や準備が必要か、実際にどんな事故が起きているのかを調べて考察する。 ○子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解し、自分たちの住む地域にどんな施設や制度があるのか調べ、支援の課題を考察する。			後期 9～12	No.6	
評価方法	・面接指導(スクーリング)への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題(レポート) ・試験(テスト)							
単位修得	・面接指導(スクーリング)は、前期・後期各5時間以上出席してください。 ・添削課題(レポート)を前期・後期各3回提出してください。 ・3年次で2単位修得します。							